

スーパーマーケット景気動向調査

2014年3月調査結果(2月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年3月20日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断 DI（現状判断）は過去最高値を再び更新するも、見通し判断は大きく下降

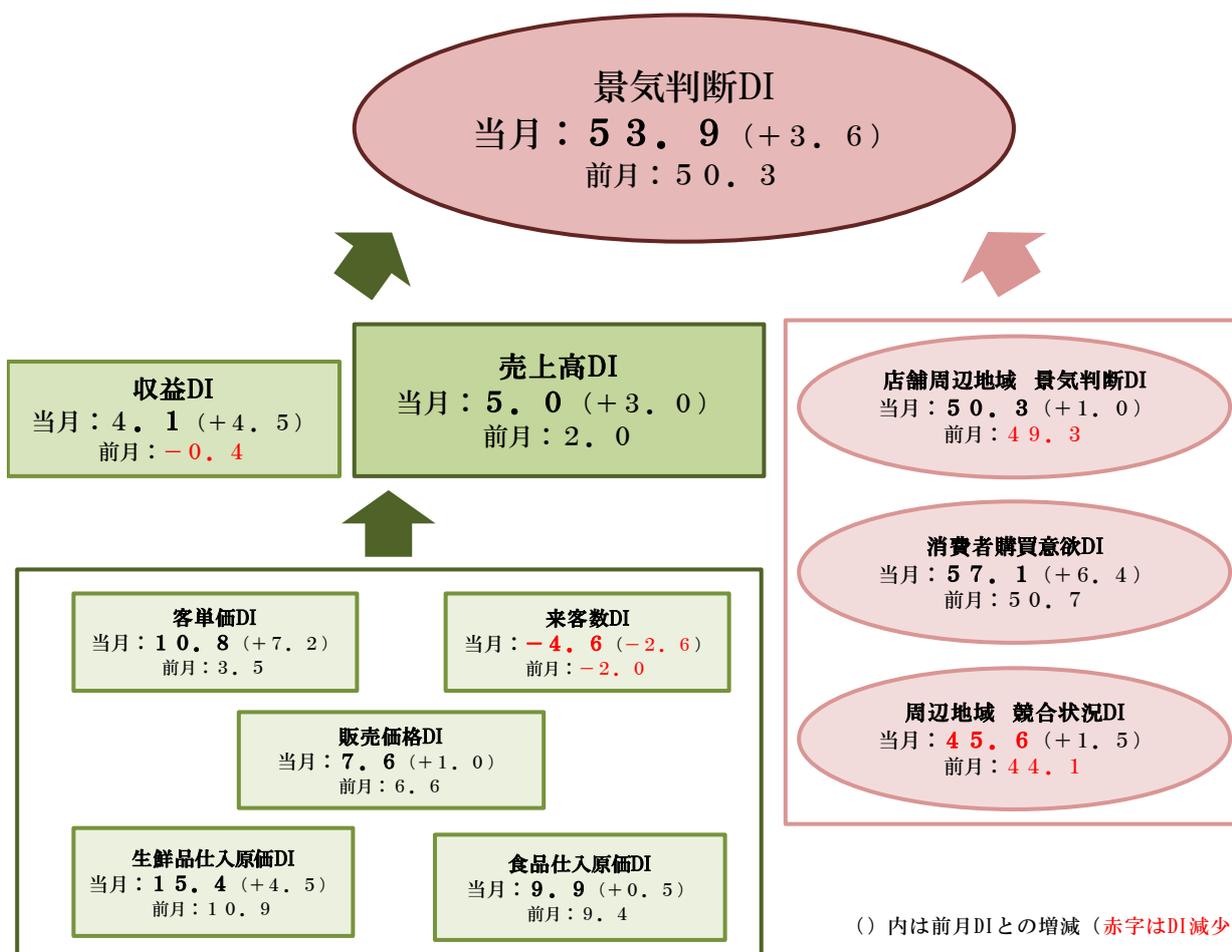
2月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断は、前月より3.6上昇し、53.9と過去最高値を再び更新する結果となった。

経営動向調査によると売上DIが5.0と高い水準であることに加え、収益DIが過去最高値である4.1となった。これは客数DIこそ-4.6と減少しているものの、客単価DIが10.8と前月比+7.2と大幅な増加を示していることが要因と考えられる。生鮮仕入原価DIは悪天候の影響で前月比+4.5で15.4と再び高水準を示している。

景況感調査では、4月の消費税率引き上げに対する警戒感が顕著に表れた結果となった。現状判断ですべてのDIが過去最高値を記録し、特に消費者購買意欲DIは前月比+6.4の57.1を記録した。一方で見通し判断は景気判断DI39.8（前月比-5.0）、消費者購買意欲DI37.9（前月比-9.7）と軒並み40を下回る低水準を記録している。この水準は回復傾向がはじまった2012年11月以前の水準であり、消費税率引き上げ後に対する強い不安を示す結果となった。

2014年2月

スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2014年2月キーワード TOP 3

1. 週末大雪の影響
2. 生鮮品相場高
3. 駆け込み需要

スーパーマーケット経営動向調査

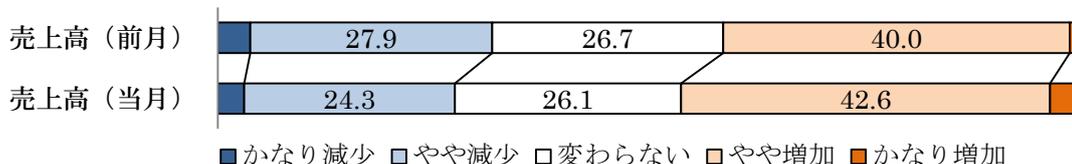
当月：2月速報版集計 233社
前月：1月確報版集計 242社

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや減少」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

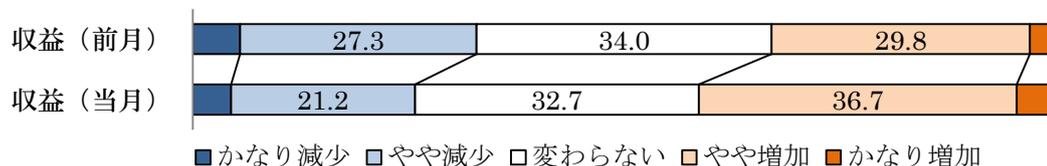
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	3.8	27.9	26.7	40.0	1.7	2.0
売上高（当月）	3.0	24.3	26.1	42.6	3.9	5.0



②収益 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」が減少（DIは上昇）

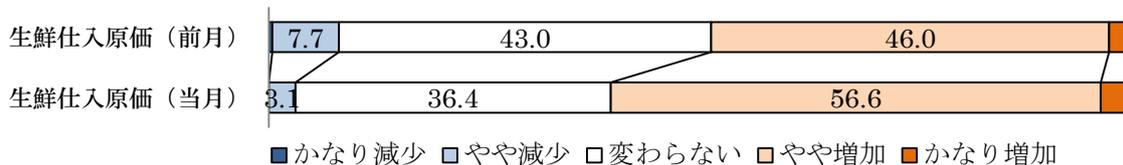
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	5.5	27.3	34.0	29.8	3.4	-0.4
収益（当月）	4.4	21.2	32.7	36.7	4.9	4.1



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が増加し、「変わらない」が減少（DIは上昇）

回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.4	7.7	43.0	46.0	3.0	10.9
生鮮仕入原価（当月）	0.0	3.1	36.4	56.6	3.9	15.4



④食品仕入原価 DI

回答構成比に大きな変化なし（DIは横ばい）

回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.4	5.9	50.2	42.6	0.8	9.4
食品仕入原価（当月）	0.4	5.7	48.5	44.5	0.9	9.9



⑤販売価格 DI

「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.8	8.3	55.0	35.4	0.4	6.6
販売価格（当月）	0.0	10.0	51.1	37.1	1.7	7.6



⑥客単価 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」が減少（DIは上昇）

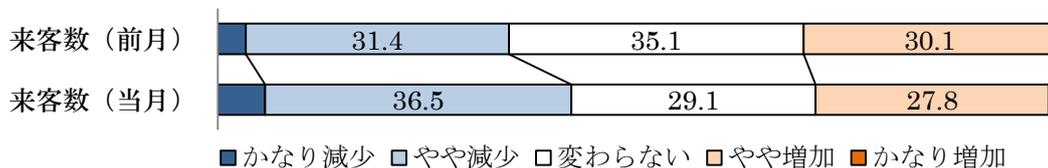
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.7	19.9	41.5	36.5	0.4	3.5
客単価（当月）	1.3	9.1	38.3	47.8	3.5	10.8



⑦来客数 DI

「変わらない」が減少し、「やや減少」が増加（DIは下降）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数（前月）	3.3	31.4	35.1	30.1	0.0	-2.0
来客数（当月）	5.7	36.5	29.1	27.8	0.9	-4.6



2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

「やや改善」が増加し、「やや悪化」が小幅に減少（DIは上昇）

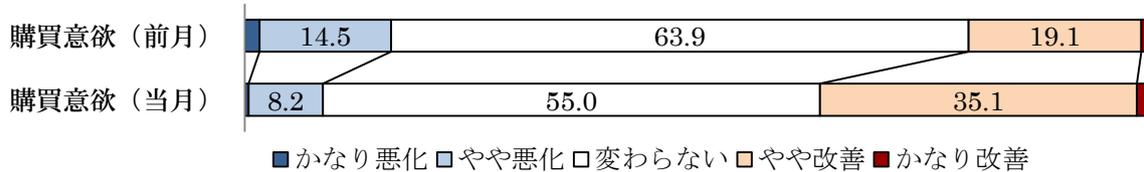
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.7	16.7	60.8	20.4	0.4	50.3
景気判断（当月）	0.9	12.1	58.6	27.6	0.9	53.9



②消費者購買意欲 DI

「やや改善」が大幅に増加し、「変わらない」「やや悪化」が減少（DIは大きく上昇）

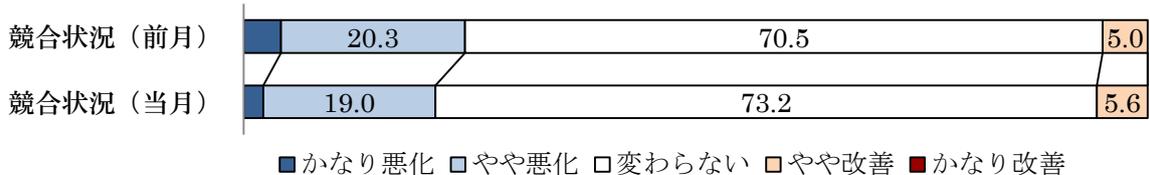
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.7	14.5	63.9	19.1	0.8	50.7
購買意欲（当月）	0.4	8.2	55.0	35.1	1.3	57.1



③周辺競合状況 DI

「変わらない」が小幅に増加（DIは小幅に上昇）

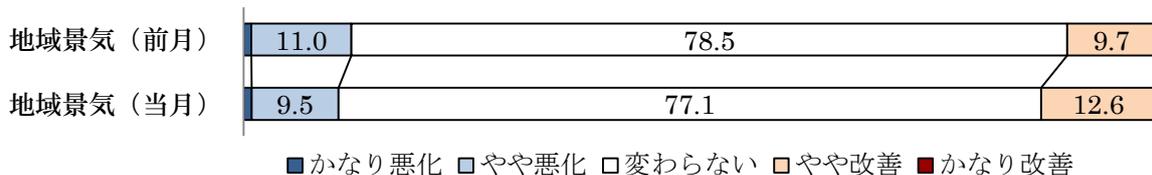
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.1	20.3	70.5	5.0	0.0	44.1
競合状況（当月）	2.2	19.0	73.2	5.6	0.0	45.6



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

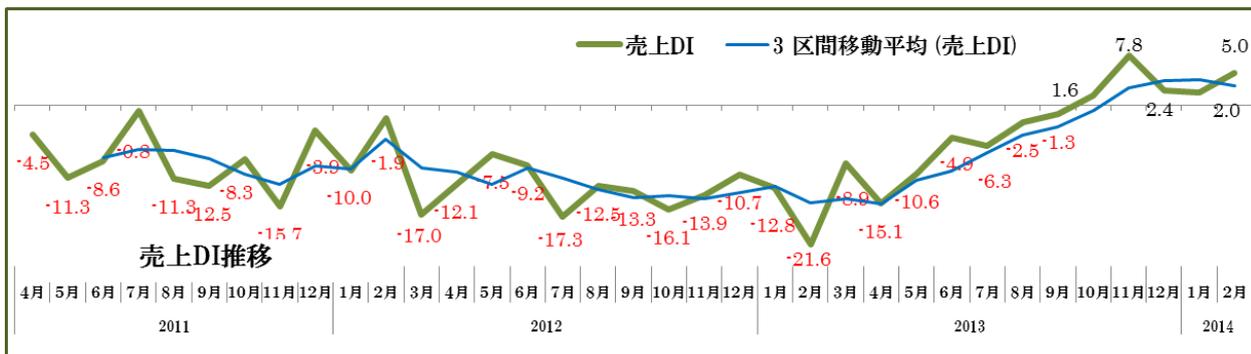
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.8	11.0	78.5	9.7	0.0	49.3
地域景気（当月）	0.9	9.5	77.1	12.6	0.0	50.3



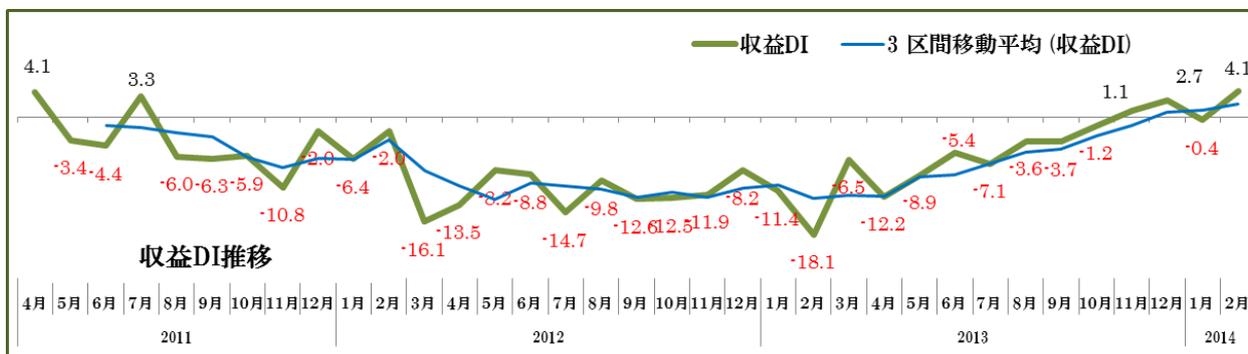
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

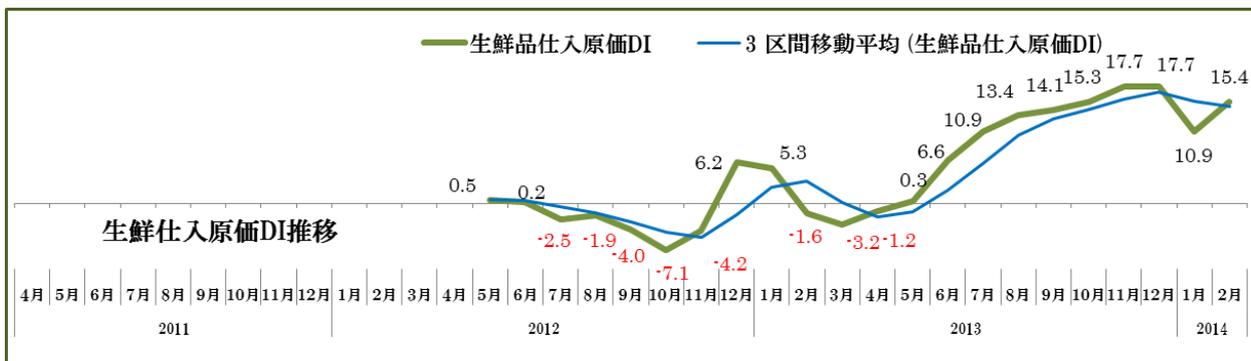
①売上高DI 2月再上昇し、5か月連続でプラスを維持



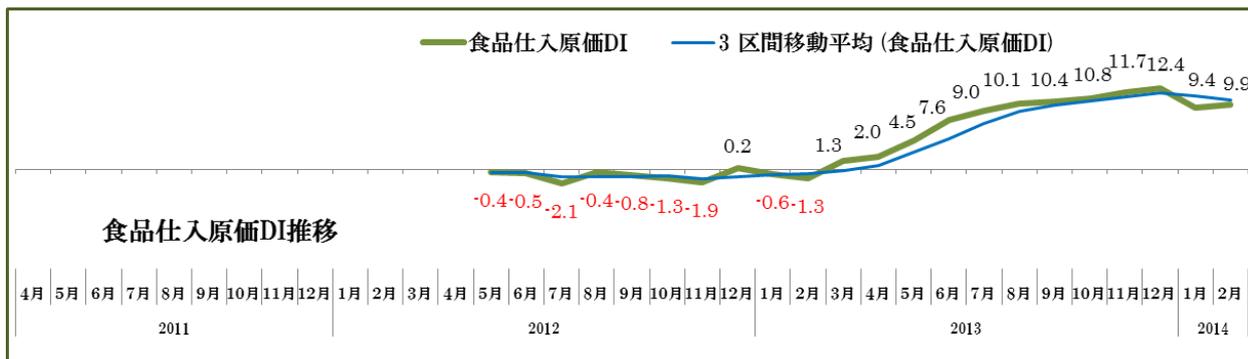
②収益DI ゆるやかな上昇傾向続き最高値タイを記録



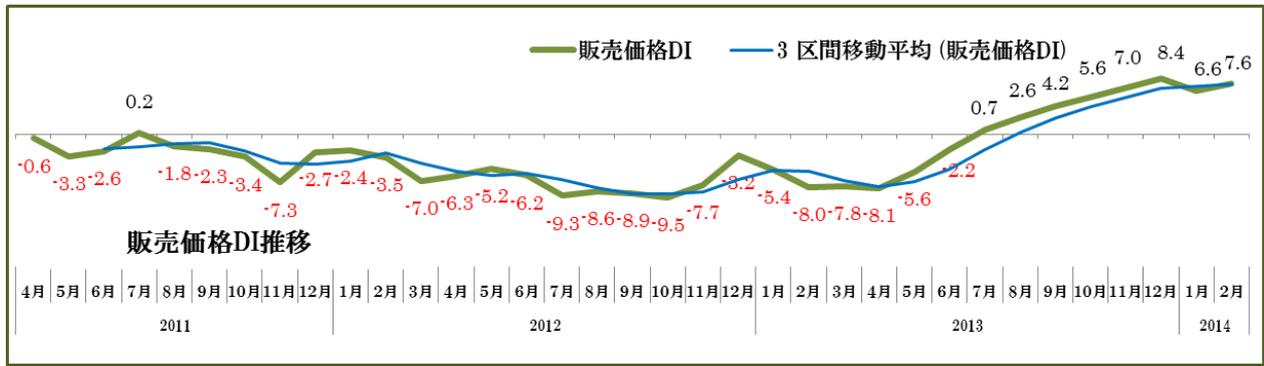
③生鮮仕入原価DI 2月再上昇し再び高水準に



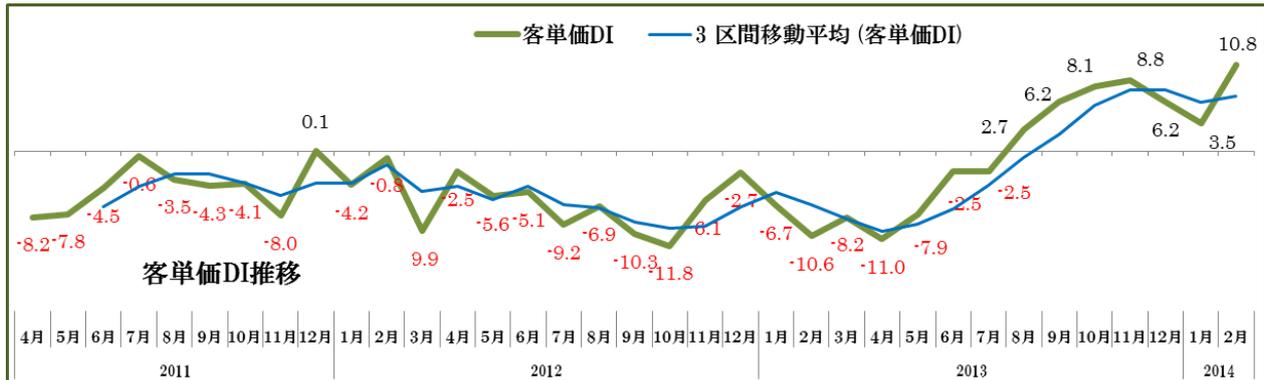
④食品仕入原価DI 上昇傾向一服も高水準



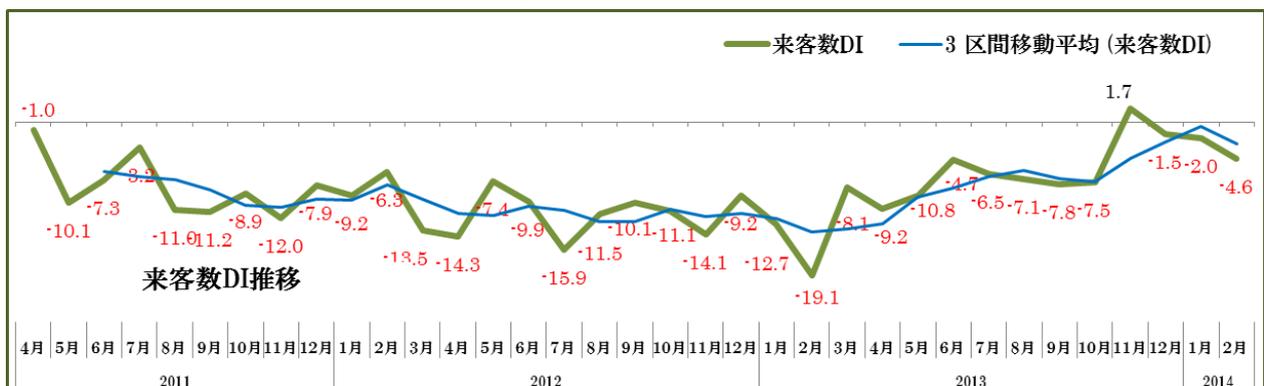
⑤販売価格 DI 上昇傾向一服も高水準



⑥客単価 DI 2月急上昇で最高値を更新



⑦来客数 DI 11月をピークに3か月連続の下降



2. スーパーマーケット景況感調査

①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は上昇し最高値を更新するも、見通し判断は大きく下降



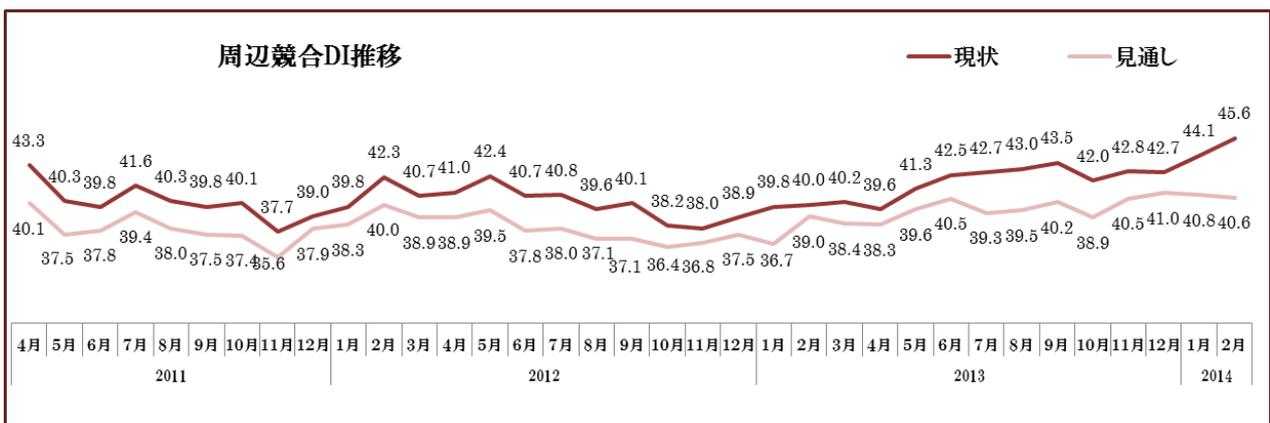
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断は大きく上昇し最高値を更新するも、見通し判断は大きく下降



③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断はやや改善し最高値を記録、見通し判断は横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

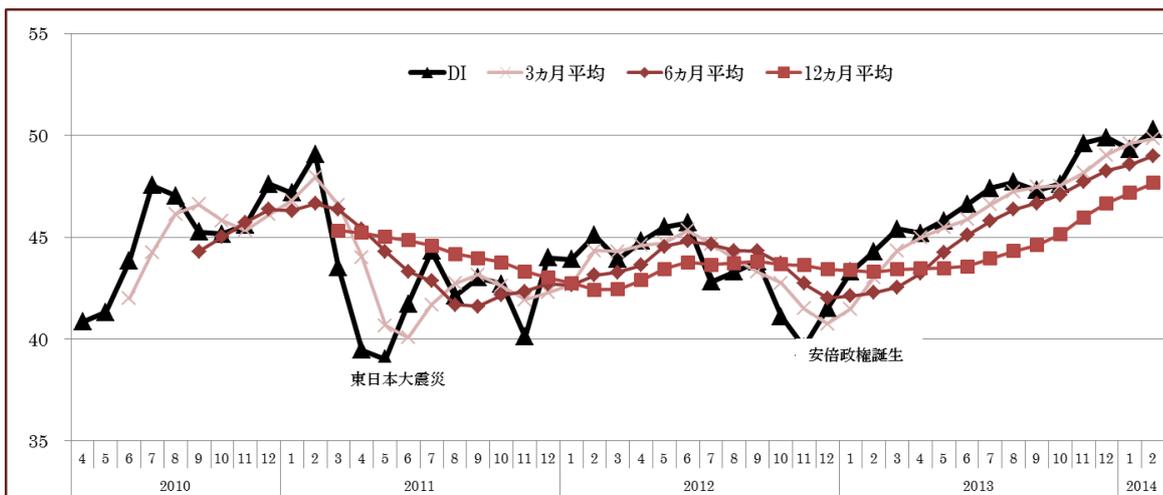
現状判断は小幅に改善し50を上回るも見通し判断は大きく下降



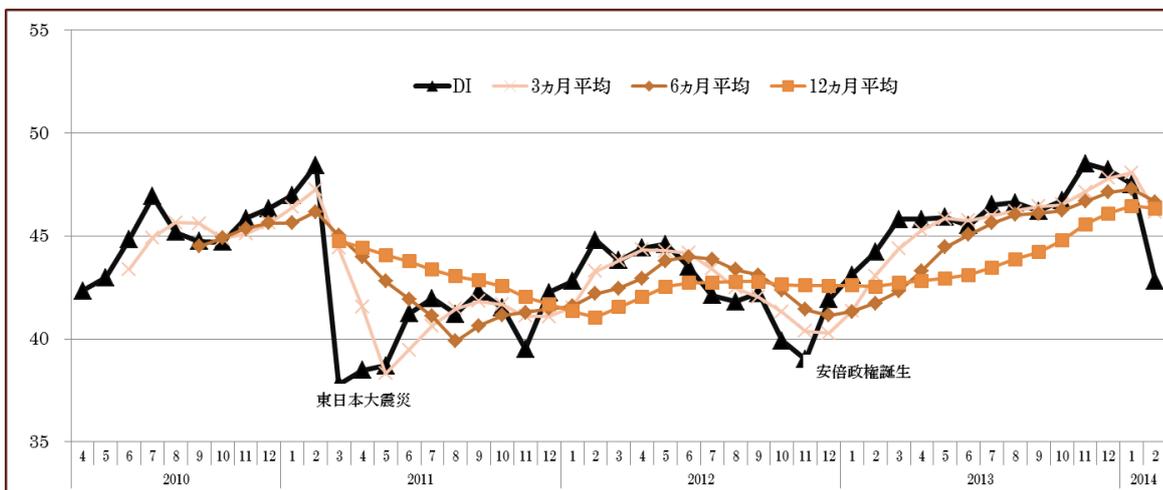
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

当月現状判断DIでは小幅に改善し、各平均線は上向きの推移を維持している。一方で見通し判断は5ポイント近い大幅な悪化となり、4月からの消費税率引き上げに対する警戒感が顕著に表れる結果となった。この状況が一時的か、長期的なトレンドに変化をもたらすのかについては、次月以降の動向を見極める必要がある。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）

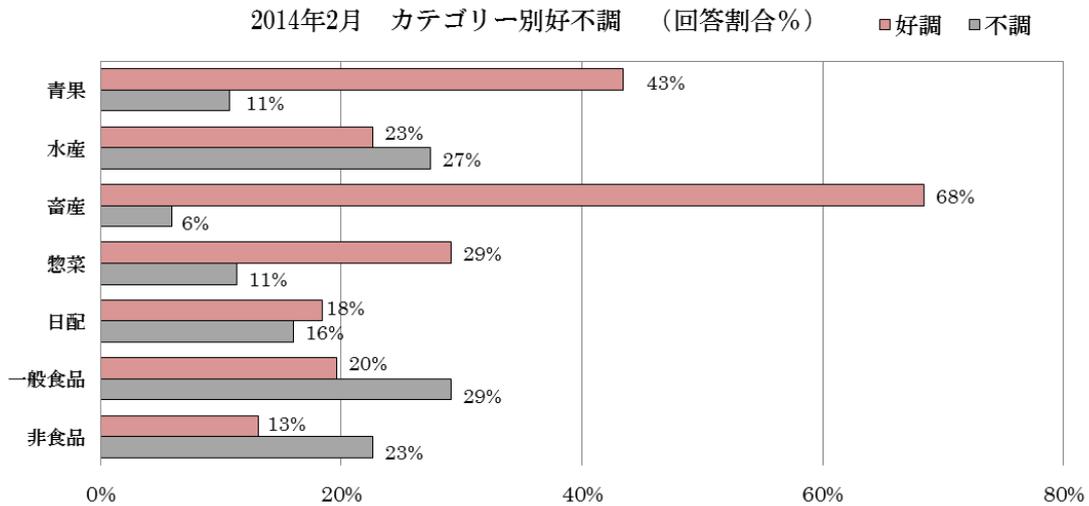


III. カテゴリー別動向

① 好調・不調カテゴリー（回答割合）

好調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

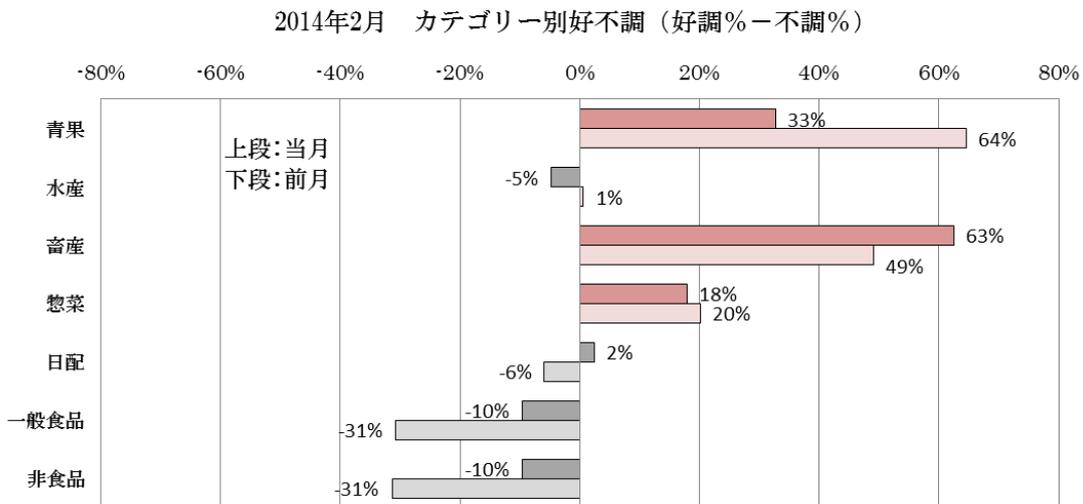
不調：①「一般食品」②「非食品」③「日配」



② 好調・不調カテゴリー（回答差）

好調>不調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

好調<不調：①「一般食品」「非食品」③「日配」



※集計企業数=170社

③ 主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	相場高、カット野菜	果物(いちご)、品不足、薬物野菜
水産	恵方巻き関連、品揃え強化	刺身、入荷不足、不漁
畜産	相場高、大雪買いだめ需要、豚肉、(牛、鶏)	入荷減、相場高
惣菜	寿司(恵方巻き)、品揃え取り組み強化	大雪による客数減少
日配	鍋物関連(おでん)、ヨーグルト	入荷減、欠品、(冷凍食品)
一般食品	駆け込み需要、(大雪による買いだめ)	米相場安、酒、(菓子)
非食品	(駆け込み需要)	ドラッグストアとの競合(価格競争)

() は少数コメント